

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	みらいく高松園
施設所在地	東京都練馬区高松6丁目28番29号
事業者名	株式会社第一コーポレーション

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動あそび

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭も狭く戸外活動で地域の公園を利用しているが身体の機能を十分に活かす為にはどうしたら良いか、組替式遊具(巧技台)を使い楽しく、自発的に多種多様な動きが出来るようにテーマを「運動」と設定する。

2. 活動スケジュール

月1回、3,4,5歳児が実施している。

4歳児：9:30～10:10

3歳児：10:10～10:50

5歳児：10:50～11:30

片付け

12:00～フィードバック

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

巧技台を購入し、元ある跳び箱、マット、鉄棒をセットしてぶら下がる、登る、這う、転がるなど様々な動きが出来るようにしている。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

子どもたちの不安な気持ちを払拭して、挑戦できる気持ちを持てるようにする。
環境設定として巧技台を購入し元ある跳び箱、マット、鉄棒を組み合わせ「やってみようの36の動き」を取り入れる。講師には肯定的な言葉かけ、選択できる環境を設定してもらう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

友だち同士で「どうやったらできる?」「頑張って」のやり取りもあり、ハイスコープの中にあるアクティブラーニング、言葉かけも運動あそびの中に盛り込まれている。

友だちがやっている動きを真似したり、自分でやりたい事を選択したりする姿がある。

どの部分に力を入れるとバランスが取れるなど子ども同士の会話があった。教え合い、子どもたちの関わりが成功体験に繋がっている。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもたち自身で遊びを考えていく力もすくわくを通してより成長したように感じる。
- ・室内での運動あそびがこんなにも幅広く楽しいものだを知る事ができた。大人が全て準備するだけでなく子どもが考えた遊びを取り入れる事の大切さも知り、子どもの発想力も確認する事が出来た。
- ・今までは出された物をただやっているという感じがあったが「こうやったらどうだろう」「もっとやりたい」など主体的に遊びを展開する姿が見られた。